

## 1-(3) 「広報ぎふ」5月1日号から多言語に対応したアプリを導入

### ◆背景

入管難民法改正（平成31年4月1日施行）

### ◆現状

広報紙閲覧サービスを活用し、「広報ぎふ」を配信

（アプリ「マチイロ」：H29.4.1～、アプリ及びウェブサイト「マイ広報ぎふ」：H31.1.1～）

○「マチイロ」は、紙面の形で配信

○「マイ広報ぎふ」は、文字データで配信

・記事の検索が容易となる「**キーワード検索**」

・興味・関心のある分野ごとの閲覧が可能となる「**カテゴリ分け**」

（子育て、健康、暮らし、スポーツ、観光、文化、しごと、講座、その他）

といった機能がある。

### ◆課題

そのような中、

○ウェブサイト「マイ広報ぎふ」では、**103**の言語の**翻訳機能**があるが、**言語を検索する入り口が日本語のため、外国人にとって利用が困難**

○アプリにおける**多言語対応**

→ 外国人が市政情報を入手するための手段を模索してきた

### ◆方策・効果

新たに、アプリ「カタログポケット」を導入

・**多言語翻訳機能**（10言語）により、

→ ・市内の**6割強の外国人（63.17%、およそ3人に2人）が母国語**での閲覧が可能

・**英語でカバーできる外国人**を合わせると、**相当数の方が利用可能**

・**入管難民法改正**による、今後見込まれる**外国人労働者増加への対応**が可能

なお、アプリのダウンロード時に、使用しているスマートフォンの**言語設定**を

**自動的に反映**するため、使用する言語を検索する必要がない

また、

・**音声読み上げ機能**（9言語、上記10言語のうちベトナム語は未対応）もある。

#### 【10言語】

日本語、英語、中国語簡体字、中国語繁体字、  
韓国語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、  
インドネシア語、ベトナム語

## ◆周知方法

外国人に利用していただくには、アプリ「**カタログポケット**」を周知する必要がある  
そこで、各言語の**チラシ**を作成し、

- ・市民課や各事務所において**転入手続き**の際に、
- ・多文化交流プラザ（ぎふメディアコスモス内）の**外国人生活相談窓口**にお越しになった際に、
- ・岐阜市国際交流協会主催の**日本語講座**に参加する方にお渡しするほか、
- ・留学生が在学する**市内大学**に配布を依頼

◎スマートフォンがあれば、  
いつでも、どこでも、市政情報の入手が可能  
外国人の方に、ぜひ利用していただきたい。